

(様式3)

平成28年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	伊勢市都市農山村交流促進施設 郷の恵 風輪	所在地	伊勢市横輪町586
指定管理者名	横輪町活性化委員会	指定期間	H26.4.1~H31.3.31
設置目的	地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として活用することで地域の活性化を図る。		
業務内容	・郷の恵 風輪の運営・維持管理。 ・農産物等の展示販売等。 ・地域住民と都市住民等の交流を図るため、イベント等を実施。		
施設概要	施設面積 114.31㎡、管理室、物産スペース、軒下交流スペース等		
職員体制	会長1人、マネージャー1人、事務員5人		
施設所管課名	農林水産課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	比較(C-B)
事業 収支	収入				
	指定管理料	2,451,000	2,451,000	2,451,000	0
	利用料金	0	0	0	0
	その他	7,972,824	6,136,443	8,335,120	2,198,677
	計(a)	10,423,824	8,587,443	10,786,120	2,198,677
	支出				
	人件費	3,083,770	3,005,627	2,979,678	△ 25,949
	管理運営費	7,460,358	5,888,050	8,445,267	2,557,217
	その他				0
	計(b)	10,544,128	8,893,677	11,424,945	2,531,268
収支差引額(a)-(b)		△ 120,304	△ 306,234	△ 638,825	△ 332,591

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	収支の増は、主に商品売上高の増とそれに伴う経費増によるもの。
----------------------------------	--------------------------------

3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
施設の維持管理を適切に行っている。 地域活性化の交流拠点ということで、イベント等を開催し集客を行っている。今後とも利用者数増加に向け務めていきたい。	施設の維持管理については、これまでと同様に管理が行われている。また、地域住民と都市住民の交流の場ということで、桜まつりなどのイベントを開催され地域の活性化に務められているのは大変評価できる。高齢化等の課題はあるが、集客数の増加に向けて検討されたい。

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		評価	
業務運営項目	評価の基準	指定管理者 判定	市 判定理由
①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	施設の設置目的を十分理解している。
②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	施設設置目的である地域活性化の交流拠点という点では設置目的達成している。
③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	B	桜まつり等のイベントを行ったが、前年をやや下回った。
④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	事業計画書とおり供用日数、時間を達成した。
⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	作業責任者、担当者は明確になっている。
⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	事業計画書に記載の毎月の業務報告とイベント時等必要ときに、市と連絡調整をしている。
⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	B	一部記録等ないものもあるが、点検記録等、整備保管は行っている。
⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	A	事業計画書で予定されていたイベントを行い、都市部との交流を行った。
⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。		使用許可は特になし。
⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。		利用料金の徴収等は特になし。
⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	個人情報について適正に管理している。
⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	関係法令は遵守している。

〈各項目ごとの判定〉

判定	評価基準
A	協定書・仕様書・事業計画書に定める内容を忠実に履行、又は水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
B	概ね、協定書・仕様書・事業計画書に基づいて運営がなされているが、一部に改善の必要性が認められる。
C	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、早急な改善が必要である。

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		評価	
業務運営項目	評価の基準	指定管理者 判定	市 評価理由
①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	利用者数の増加や利便性を高めるための具体的な取り組みが行われたか。	A	チラシ配布や資料提供、CATVでイベント内容がよくわかるような原稿を心掛けた。
②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行ったか。	A	利用者には平等な対応をしている。
③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行なったか。	A	記者クラブへの資料提供やCATVでの情報提供を行った。
④非常時・緊急時の対応	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	B	以前にAEDの訓練の経験があり知識等はあるが、毎年実施していない。
⑤苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	事故・苦情があった場合には、対応できる体制は整えている。
⑥自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	機構町という農村の環境を活かしたイベントを行い、利用者から評価を得ている。
⑦事業の評価	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	B	業務報告書を作成し、活性化委員会の中で改善策を検討している。
①建物・設備の保守点検	建物・設備・補設等が適切に管理され、安全性の確保、良好な機能及び美観の保持がされていたか。	B	必要な設備の保守点検を行っているが、建物等劣化はみられる。
②備品等の管理	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	備品について丁寧な取り扱いをしている。
③修繕業務	点検のよって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	B	異常があった場合は、市に報告しているが、内容の記録はなされていない。
④清掃業務	清掃は適切に行なわれていたか。	A	予定をたて清掃を行っている。
⑤防犯体制	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵は定められた箇所へ保管し、閉館時には施錠している。委託期間中に防犯に関する問題はなかった。

〈各項目ごとの判定〉	
判定	評価基準
A	協定書・仕様書・事業計画書に定める内容を忠実に履行、又は水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
B	概ね、協定書・仕様書・事業計画書に基づいて運営がなされているが、一部に改善の必要性が認められる。
O	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、早急な改善が必要である。